

# 前回以上の波乱も

## 26日にチッソ株主総会

【大阪】水俣病の責任を追及されているチッソ株式会社(本店大阪、江頭豊社長)は第四十三定時株主総会を二十六日、大阪西区の厚生年金会館で開くことを決め、十一日総会招集公告をした。今度の総会では決算のほか役員改選もあり、「一株株主」多数が出席、

昨年十一月の総会以上に荒れるのではないかとみられている。チッソの株主総会を公害責任追及の場としている「一株運動」の「水俣病を告発する会」は二十二日、東京、大阪、熊本、名古屋、福岡など全国各地の「告発する会」代表者を集めて会議を開き

「総会作戦」を練る。同会は十一日にリーダーの後藤孝典弁護士(東京・水俣病を告発する会所属)らが、同社役員を総退陣と、会員十五人の役員立候補通告をチッソ側に行なっている。

一株株主と会社側との対決の場として注目された昨年十一月二十八日の株主総会では「怨」の悪旗を先頭に千五百人の一株株主が出席、怒号と混乱の中で江頭社長を患者たちの前に土下座させた。

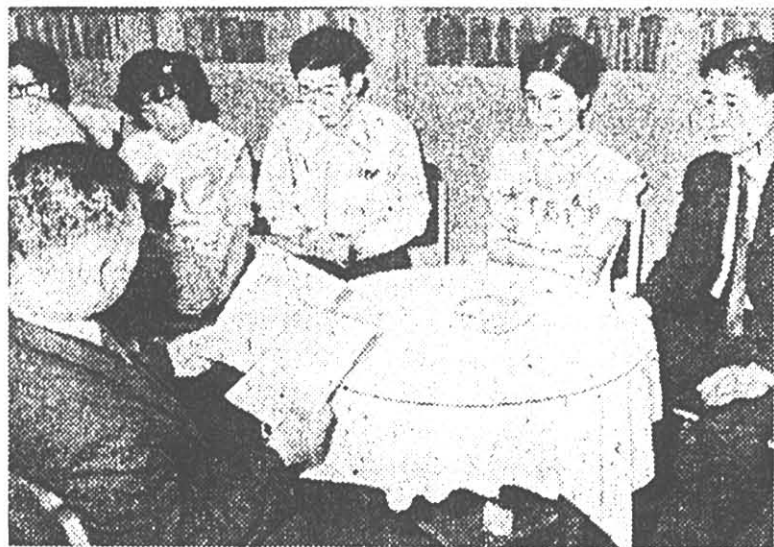
同会によると当時約五千人だった「一株株主」はその後ふえて現在約九千三百人とほぼ倍になった。このため、今度は二千人以上が押しかけると予想されている。また一時欠席を伝えられた患者、遺族たちも出席、水俣病を起したチッソへの怒り、ちらみをおつける予定。

この総会に向けて東京の告発する会では二十日、日比谷野外音楽堂などで「チッソの責任を追及する。怒り」を開く予定でいま入場券(五百円)に仕立てたチッソ

の「株券」を売り出し中。大阪でも一般株主への協力呼びかけとともに二十三日、チッソ本店に近い西区・柳公園で抗議の大集会和デモを計画するなど各地の動きは活

発化している。一方、これに備える会社側は極秘で総会運営策を練っているが、総会屋の大量動員も予想され、チッソ総会を前に早くも緊迫化はじめている。

三月末現在の株主は約五万六千人で、昨年九月末の五万一千五百十六人に比べ約四千五百人ふえた。このほとんどは一株株主とみられる。このため厚生年金会館で開かれる総会も同会館中ホール(収容人員千百人)から大ホール



「水俣病を告発する会」代表から名簿を受け取る川村所長(左)(大阪・北区チッソ本店で)